



さ か た かずひろ
坂田 一広 議員



録画映像は
こちらをCHECK

公共施設などの 現状と課題は

【答】 財政的に対応 可能かつ 現実的に検討

問 公共施設等総合管理計画で示された

公共施設などの現状と課題について、どのように考えるか。

答 町長 財政的に対応可能な現実的な

公共施設の維持管理、更新や今後の投資的事業を検討。

問 地方自治法では「地方公共団体は、

住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を上げようになければならない」としている。町長は、これをどのように町政に反映しているか。

答 町長 この規定は、地方自治運営

の基本原則。このことを常に念頭に置きながら、予算編成や町政運営に取り組みたい。

問 都市計画変更後の漆原総社線は、総

事業費が約12億8千万円。しかし、町道温泉通り線までの既存の漆

給食センター建て替えのスケジュールは

【答】 基本計画策定後となる

問 給食センター建て替えのスケジュールは。

答

教育委員会事務局長 基本計画策定後、ある程度具体的に示せるのではないかと。

問 八幡山グラウンドの整備・拡張は、

総合計画などさまざまな計画の中で検討・協議した後に着手するという説明があったが、

原総社線を町道前屋敷・瀬来線に接続しても同様の効果が得られ、かつより少ない予算で済むのではないかと。

答 建設課長 第1工区完了後、町の財政状況など総合的に判断して、第2工区の事業着手には慎重に対応する必要がある。

相当の期間を要するのでは。

問 町長 町の財政状況などを見据えながらの対応となるので、具体的にいつまでということとは言えない。

答 町長 新型コロナウイルス感染症の感染拡大では、病床数などで、一時危険水域に達しているとの報道もあった。今後、

問 新型コロナウイルス感染症の感染拡大では、

病床数などで、一時危険水域に達しているとの報道もあった。今後、



400mトラック・芝張りのサッカー場・野球場の整備となると多額の予算が必要になる（八幡山グラウンド）

また同様の新興感染症の感染が拡大した場合に備え、新たな医療体制の枠組みが必要と考えるが。

答 町長 県に対し、会議の中で意見などを言っていきたい。



いいじま まもる
飯島 衛 議員



録画映像は
こちらをCHECK

暗所視 支援眼鏡を 給付対象に

問

網膜色素変性症と
いう病気の人にと
って、暗所視支援眼鏡と
いう画期的な眼鏡が普及
しつつある。給付など事
業に追加できないか。

答

総務課長 県内の
状況では、まだ給
付している事例がな
い。今後ニーズを捉え
ながら検討したい。

答 県内で給付 事例がない

問

視覚障害者用の音
声読み上げソフト
などの更新を、8年か
ら5年にできないか。

答

町長 近隣の自治
体の状況を参考に
して検討したい。

問

障害者の日常生活
用具給付等事業
で、用具を購入した場
合の助成はどうなっ



安中榛名駅のラウンドアバウト

問

交通渋滞対策とし
て、ラウンドアバ
ウト（環状交差点）を
大松の交差点に設置し

答

建設課長 導入が
適切か検討してい
きたい。

答 適切か検討したい

答

総務課長 世帯の
収入状況に応じて、

1割から3割の自己負
担で、残りを公費負担
している。

ラウンドアバウトの交差点導入を

議会の

コロナ対応について

議長 山畑 祐男

新型コロナウイルス感染拡大について
は、終息が見通せず、変異株の感染拡大な
ど、いまだに厳しい状況にあります。

このコロナ禍で、議会も臨機応変に対応
し、臨時議会を例年より多く開会して対策
事業に関する議決を行っています。また、
議会内の感染拡大防止対策として、モニタ
ー式検温器や委員会室などの飛沫防止パネ
ルの導入、マスク着用・消毒・換気を徹底
して行っています。

ワクチン接種については、これから順次
始まりますが、速やかに実行できるよう、
議会として全力で取り組みます。



傍聴席入り口前に用意した
モニター式検温器



かなや やすひろ
金谷 康弘 議員



録画映像は
こちらをCHECK

漆原総社線 最終判断は

【答】令和4年度 以降、事業化 の検討

問 前回質問の答弁で、都市計画道路

漆原総社線の着手は、令和3年度の予算編成を進めるなかで最終判断とのことだったが、どのように判断したのか。

答 町長 町全体の主要事業計画上の位置づけ、国補助金の確保など、総合的かつ慎重に熟慮した結果、令和4年度以降の事業化に向け検討。

問 国補助金に国土強靱化計画が必要とのこと。同路線の位置づけは。

答 建設課長 激甚化する災害対策で、

緊急輸送道路としての位置づけ。

問 渋川市は都市計画道路の見直しを行い、吉岡バイパスの延伸先を新規構想路線とのこと、目的と路線場所は。

答 建設課長 渋川と吉岡を結ぶ重要な主要幹線、県央地域全体の発展に効果。同バイパスと半田南線の交差点から八木原駅周辺を通過し市道南部幹線まで。

問 上武国道につながる、同バイパス東側、市都市計画道路半田南線の接続。市と協力し合い県に働きかけを。

答 建設課長 令和元年度に、2年ぶりに渋川・吉岡の地域連携協議会を開催。具体的協議を進めたい。

問 3校にて端末利用の授業が開始、操作を覚える授業でなく、勉強を理解する道具との認識が重要と考えるが。

答 教育長 パソコンの操作を覚えるのが、導入の目的ではない。使用の目的は、試行錯誤や自分の考えを友達と比較したり振り返ったりして、自己調整力を育むこと。

問 コロナ禍・GIGAスクールで教育委員会は人員不足では、これは全庁的なことでは。

答 総務課長 職員定数条例の改正を提案中、可決すれば13人増の146人となる。

問 防災訓練に※HUGの導入を。

答 町長 町防災専門員はノウハウを熟知している。ぜひ実施したい。

避難所に災害対応LPガスバルクを

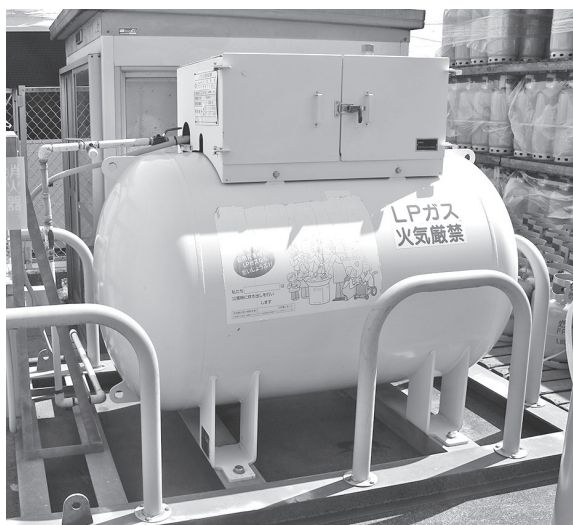
【答】今後の施設は設計時に検討

問 避難所に災害対応LPガスバルク設置を。

答 町長 今後予定の公共施設は、設計時に可能性を含め検討。既存施設はガスの

利用を確認し検討。発展する吉岡、景観条例の制定を。

問 建設課長 当面は県景観条例・県屋外広告物条例で対応。



ブラックアウト時に発電機を動かし、調理・給湯・冷暖房の機器のエネルギーとなる(災害対応LPガスバルク)

ミニ解説

※HUG

避難所運営ゲームのこと。避難所のH、運営のU、ゲームのGの略。避難所運営を任せられたという想定の下で、次々にやってくる避難者の状況を考慮しながら、迅速かつ適切に対応する術を学ぶゲーム。



いづか けんじ
飯塚 憲治 議員



録画映像は
こちらをCHECK

吉岡バイパス 延伸、着手への アプローチは

問 都市計画道路大久保・上野田線、着工に向けての取り組みは。

答 町長 町の発展に欠かせない重要道路、県当局に強く要望している。実現に向けて継続して努力する。

問 県道南新井前橋線の大松交差点西区

町の発展に かかせない 継続努力

答 間の4車線化を県に要望すべきでは。

答 建設課長 要望には、町都市計画の変更が必要。見直しは考えられるが、出店事業者は現在の3車線を希望。

問 豪雨で護岸越水の危険が迫った駒寄川、護岸の整備計画は。

答 豪雨で護岸越水の危険が迫った駒寄川、護岸の整備計画は。

答 町長 早期事業化の要望を継続要請。県は住民の不安、地元の強い要望と認識し、予算措置を考慮中。

問 上越線西側方面、駒寄・駒寄台地区の排水計画の現状は。

答 建設課長 全体的排水改善策が必要と認識。国土強靱化計画に位置づけて、補助事業などを考慮して検討。

問 駒小東、上越線の踏切付近が道路冠水、排水能力の向上策は。

答 建設課長 鉄道会社との協議にて、当該箇所は対策済みと確認された。

GIGAスクール構想、新学期への準備は

答 先生の準備、生徒の習熟度も進んでいる

問 GIGAスクール構想での、タブレット端末とICT環境機器類の準備は。

答 教育委員会事務局 長 端末、ICT環境機器類ともに準備完了。

問 自治会からの危険箇所報告、内容に対する改善計画は。

答 総務課長 報告内容の分析中であり、活用できる部分を今後の改善計画の参考とする。

問 交通安全プログラムにおける、駒小通学路の危険解消の進展は。

答 建設課長 プログラム関係者で現地調査・協議したが、住宅が立ち並ぶ現状から、早急な対応は困難。路面表示などを検討したい。

問 教育者の配置と、先生の端末活用の理解度は十分か。

答 教育委員会事務局 長 各種研修やGIGAスクールサポーターの支援活動により、端末活用スキル、指導力ともに向上している。

問 オンライン学習の実情、児童・生徒の習熟度はどうか。

答 教育長 児童・生徒の発達段階や学年に求められる技能を高めているところである。今後も、端末を活用しながら習熟度を高めていく方針。



延伸が望まれる吉岡バイパス（バイパス北端の宮東交差点）



こいけ はるお
小池 春雄 議員



録画映像は
こちらをCHECK

コロナ禍での 独自施策は

答 臨時交付金 などの財源 を活用

問 地方自治法では、地方公共団体は住民の福祉の増進を図ることを基本とし、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする」と規定している。コロナ禍の中で多くの人が、先が見えず不安を抱いている。行政の責任が戦後これほど求められている時代は経験したことがないと思う。議会でも要望書を出しているが、先進地事例ではそれぞれ地域に合った施策を実施している。厳しい財政状況はどこでも変わりはない。町独自の助

答 町長 奨学金制度については教育委員会と協議したい。給食費については引き続き協議する。保育料の無償化は引き続き検討課題として。通学バスの無料化についても

問 コロナ禍で高校生・大学生にアルバイトがなく、進学を諦めたり中途退学をする人達が増えている。奨学金制度を作るべきだと思うが。また、子育て支援策として以前から求めている、給食費・保育料・バス通学費の無料策は。

答 町長 制度が婚姻律上の効果が生じないため、現在は宣誓した人に提供できるサービスなどを検討している。人権問題や、共生社会をつくることに

問 群馬県や渋川市などでも※パートナースhip制度が導入されている。この制度は、性同一性障害などの人たちが町に申請し認められれば、町営住宅などの入居が可能であることなどが考えられるが。

答 町長 今後もコロナウィルスを取り巻く状況を的確に把握し、情勢の変化を見極め、追加措置された臨時交付金などの財源を活用し、町民のための事業を実施して行く。

奨学金制度の創設と子育て支援を

答 協議検討課題としていきたい

考えていきたい。



保育料の完全無償化が望まれる

いて積極的に臨んでいきたい。

三三解説

※ぐんまパートナーシップ宣誓制度

「一方または双方が性的マイノリティである2人の者が互いの人生において、互いに協力して継続的に生活を共にすることを約した」ことを宣誓し、パートナーシップの関係にある者同士がそろって宣誓書を県に提出し、県が受領カードなどを交付する制度。公営住宅の入居申し込みや医療機関での家族同様の面会などの際